

大館市の未来を創る会 ふもと幸子通信



第2号 2019年11月発行



お互いを支え合う温かくて強いまちを

皆さま、ふもと幸子でございます。日頃ご支援いただきまして、誠にありがとうございます。私の活動のご報告及びそこから感じたことをお知らせする「ふもと幸子通信」第2号をお届けいたします。ご高覧のほどよろしくお願いいたします。

幸せな老後のために必要なものは…

令和元年7月14日に、第1回の「大館市の未来を創る会」を開催しました。テーマは「幸せな老後を過ごすためには何が必要か」。ゲストに医療・福祉ジャーナリストで、「老・病・死を考える会」世話人の尾崎雄さんをお招きしました。『2025年、高齢者が難民になる日』等の著書のある尾崎さんは、豊富な取材と実母など3人の介護をした体験から「幸せな老後を送るために必要なこと」として、個人の意識を変えることと地域で看取る仕組みをつくることを指摘します。

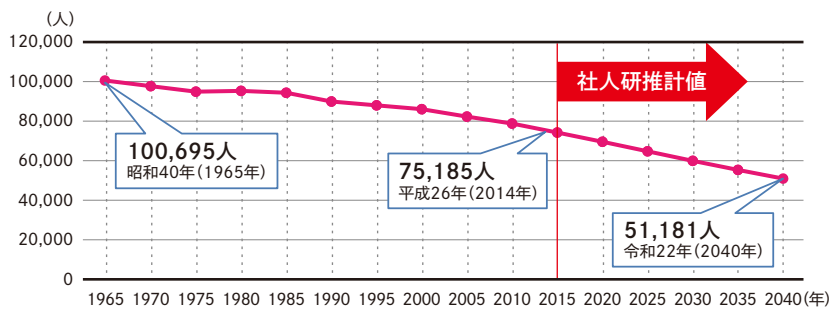
「今後生涯未婚率の高まりなどで家族のいない(ファミリーレス=ファミリーレス)の人たちが増えます。つまり、身寄りのない単身高齢者が増えると予想されます。その場合、家族に代わる何かが必要となります。それが『コミュニティの絆』づくりであり、市民同士と専門職が協働して支援する仕組み、『地域共生社会』です。それなしではおひとり様の老後は悲惨なものになると言わざるを得ません(尾崎さん)。

地域共生社会とは、制度や分野ごとの縦割りや、「支え手」「受け手」



ゲストは医療・福祉ジャーナリスト尾崎さん

大館市人口の推移



【15歳～64歳】2015年：4万275人(54.1%)→2040年：2万4864人(48.6%)
【65歳以上】2015年：2万6406人(35.4%)→2040年：2万1876人(42.7%)
出典：「大館市総合戦略」(2016年6月)

という関係を超えて、地域住民や多様な主体が、「我が事」として参画し、人と人が世代や分野を超えて「丸ごと」つながり、住民一人ひとりの暮らしと生きがいを地域とともに創っていく社会のこと。「自分ごととして課題

に取り組むことや仲間や拠点をつくり、自分のまちにネットワークを広げることが大切です。本当に怖いのは、過疎・高齢化ではなく、人々が自分たちの課題に関心を持たないという『心の過疎』なのです」

大館市の高齢化率(人口に占める高齢者の割合)は39.3%(令和元年7月1日現在)。「大館市総合戦略」(2016年6月・左グラフ)によるとそれが2040年には42.7%になるそうです。子どもがいても遠方に住んでいて頼れないという人も多い中、お互いを支え合う温かく強いコミュニティづくりの必要性は一層高まり、それを支援するまちであってほしいと思います。

男女共同参画を進める「F・F推進員」研修中!

私は令和元年度「あきたF・F推進員」研修生としても活動しています。「F・F」とは「フィフティ・フィフティ」の頭文字を取ったもので、仕事や家庭、社会へ男女がともに協力し合いながら参画することを表しており、「F・F推進員」は地域での男女共同参画推進の中心的役割を担う人材のことです。

私は多くの自治体取材や講演などで回りましたが、このような制度があるのは秋田県くらいではないでしょうか。故郷に帰ったことで自分も研修生としてそのお仲間に入ることができました。その一環として、7月27日に「北部ハーモニープラザまつり2019」に登壇、秋



佐藤センター長との対談に登壇しました

田県北部男女共同参画センターの佐藤文枝センター長と「もっと身近に男女共同参画」というテーマで対談をさせていただきました。

男女共同参画というと堅苦しく感じますが、お互いを尊重することであり、その基本は自分自身を大事にすることです。それは、自分をかけがえのない存在と思えるかどうかにかかってくるのですが、日本の女性は自尊心が低いと言われています。力も才能もあるのに自分を低く見積もりすぎているのです。…私なんてこの程度、私にできっこない…と思って尻込みしてしまう。逆に男性はたとえ力が不足していてもやってみようとする傾向があるそうです。ですから、「ここにいる皆さんは、力も意欲もある素晴らしい方々です。地域などでお役が回ってきたら臆せずチャレンジしましょう」とメッセージをお送りしました。



ふもと幸子プロフィール

秋田県大館市(旧比内町)生まれ。秋田県立大館鳳鳴高校卒業。筑波大学卒業。法政大学大学院経営学研究科修了。日経ウーマン編集長、日経BP社執行役員、文部科学省、内閣府、林野庁などの有識者委員、経団連21世紀政策研究所委員などを歴任。これまで年100回を超える講演実績がある。著書は『地方を変える女性たち』『女性活躍の教科書』『仕事も私生活もなぜかうまくいく女性の習慣』『企業力を高める一女性の活躍と働き方改革』『就活生の親が今、知っておきたいこと』他多数。



ヤギと比内鶏がいるカフェ 「カフェふもと」 オープンしました!

土曜日 AM11:00~PM3:00



ここでしか味わえないワッフルランチ



女性に好評のワッフルデザート

8月10日に比内ヒルズに「カフェふもと」がオープンしました。自宅でも職場でもない、自分がホッとできる第三の居場所(サードスペース)をつくり、多世代が触れ合い交流する地域共生社会の拠点になれば...と思い、カフェをつくりました。土曜日11時から15時のみのオープンですが、おかげ様で、女性同士、カップル、ファミリーと大館市内外の皆さまに多数ご来店いただいております。新メニューのワッフルランチやワッフルデザートも好評です。女性や子どもたちにはヤギのアイちゃんが人気です。

カフェふもとは、毎月第三土曜日にはセミナー「健康教室たっこ森」も開催しています。詳細は下記をご覧ください。



ヤギのアイちゃん



比内ヒルズから見る達子森



カフェふもと店内



天然記念物の比内鶏

大館市比内町扇田字長岡45番地(比内総合支所向い・高台、長岡城跡)
問い合わせ先 **比内ヒルズ** TEL **0186-55-0460**

「健康教室たっこ森」

毎月 **第三土曜日**に開催!

午後1時半~午後2時半、カフェふもとにて

テーマ

11月23日(土・祝)「難聴・認知症の関係」

12月21日(土)「おひとり様の老後の住まいとは?」

「健康教室たっこ森」は、地域で暮らす皆さまに、健康や介護に役立つ最新情報や知識を専門職が分かりやすくお伝えし、「健康で長寿」を目指す健康教室です。無料・予約不要。振るってご参加ください。

「大館市の未来を創る会」ふもと幸子講演会開催!



10月19日、比内中学校創立50周年記念式典に登壇

テーマ「人生100年時代、後半生を故郷で生きる」

日時 12月1日(日) 午前10時~午前11時(午前9時40分受付開始)

場所 大館市立比内公民館2F第3・第4研修室
(大館市比内町扇田庚申岱8 TEL 0186-43-7141)

光栄なことに、麓の講演を聞いてみたいとのご要望が多く、12月に講演を企画いたしました。なぜ、私が39年ぶりに愛する故郷に帰ってきたのか、暮らしてみていることなどをお話いたします。お子様連れ大歓迎です。入場無料、予約申し込み不要です。振るってご参加ください。



書籍『地方を変える女性たち』日経BP社